

6月11日(水) 市議会
こんにちは!

市議会だより

をお届けします!

今議会には、新型コロナウイルス感染症対策費として9億1千万円の補正予算(案)、荷揚町小学校跡地の複合文化交流施設建設にかかる93億円の特定事業契約などが提案されました。また、日本政府に核兵器禁止条

約の批准・署名を求める請願などが市民団体から提出されました。党議員団は、すべての議案を市民目線でチェックし、みなさんの願いを後押しする論戦をおこないました。

一般会計補正予算(案)はすべて賛成

補正額 **9億1千万円**

【補正後予算額：1883億8千万円】

コロナ対策としての重要な予算であり、評価・賛同すると賛成討論。今後、大規模な検査とスムーズなワクチン接種の体制を緩めることなく行うことを改めて要望しました!



歳出

- 大分市抗原検査センター(9月末まで延長) 1億8千万円
- 新型コロナウイルスのワクチン接種経費 3億円
- 新型コロナウイルスの疫学調査や陽性患者搬送事業 6千万円
- 新型コロナウイルスの生活困窮者自立支援金事業 3億7千万円



歳入

- 国県支出金 7億1千万円
- 基金繰入金(財政調整基金) 2億円

反対

一般議案：議第86号大分市立認定子ども園条例の一部改正について

大分市が進めている公立保育施設の統廃合計画には、基本的に反対しています。3月議会では「のつはる」、今回は「さかのせき」がこども園化されました。大分市では未だ待機児童(市は「未入所児童」という)が多く、幼稚園枠を含むこども園より保育所のニーズの方が高いはず。公的保育は、配慮が必要な家庭や子どもの受け皿として果たすべき責任もあり、縮小すべきではありません。

介護保険の負担軽減を! 2つの請願、不採択に

- 令和3年請願第1号「介護保険財政における国庫負担割合の大幅な引上げを求める意見書提出方について」
- 令和3年請願第2号「介護保険第1号被保険者の保険料引下げを求める請願」

2つの請願が、厚生常任委員会で審議された結果、不採択になりました。高齢者にとって介護保険料の負担はすでに限界ですが、介護従事者の処遇改善のためには、介護報酬の引上げも必要です。介護保険料を抑え、介護施設の運営を支えるには、国の負担分を引き上げるしかありません。請願は切実な市民の声であり、委員会では制度の在り方そのものに問題があることを指摘。採択を強く求めましたが、反対多数でどちらも不採択になりました。引き続き、運動を広げます。



「核兵器禁止」の願い、不採択に 総務常任委員会一賛成・反対が同数。 委員長決裁で不採択に

令和3年請願第5号「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書提出方について」は、総務常任委員会で審議され不採択となりました。

最終日の本会議で、ふくま議員が質疑にたち、不採択とした委員の反対理由などについて説明を求めました。総務常任委員長は、慎重審議をしたと言いながらも何ら説明することができませんでした。

さいとう議員が不採択の反対討論を行い、請願採択の意義・役割を強調。不採択に強く抗議しました。

粘り強い運動で、 大分市議会にも変化が

最終日の採決では、日本共産党議員団だけでなく、社会民主クラブ、立憲民主クラブ、無所属議員2人が不採択に反対しました。引き続き、意見書が採択されるよう、協力しながら頑張ります。

「保育士の処遇改善と設置基準引上げで 保育の質を担保し、保育士を確保するための意見書案」



党議員団提出、結果は不採択。非正規保育士の拡大は問題! 処遇改善こそ急務。

国は、「新子育て安心プラン」(2021~2024年)で、新たに14万人分の保育の受皿整備を打ち出しました。

ところが今、保育士が足りていません。本来は、保育士の設置基準を増やすことで働き方を改善し、給与を引き上げる処遇改善こそ必要です。

国は正規保育士を非正規保育士に変える規制緩和で対応しようとしていますが、短時間勤務の保育士が次々入れ替わるような細切れ保育では、保育の質を低下させ、さらなる保育士不足につながりかねません。正規保育士の配置基準の引上げと、賃金や働き方の改善を求めています。

一般質問

8050問題。支えている親への支援を早急に!



さいとう
ゆみこ
議員

ひきこもり問題、寄り添う対応を

さいとう議員は、ひきこもりの親の会からの声を受け、ひきこもり家族への支援について質問。ひきこもり当事者への対応はもちろんだが、支えている親への支援も急務だと質しました。明確な相談内容が定まらなくても、日常的に不安や悩み、思いを受け止める場所や、危機感をもった親が少しの間でもホッとできる居場所づくりは重要として見解を求めました。

福祉保健部長は、長寿福祉課の「なんでも相談コーナー」や「地域包括支援センター」の活用をと答弁。一時的な受け入れは原則的に民間施設の活用としましたが、必要性は認識していると答えました。

公園清掃の不足金、本来は市の責任

自治会が独自に定めている公園清掃の不足金。取らないとこともあれば、1回2,000円という自治会も。「同じ公園なのに500円と1,000円。班で金額が異なるのは納得いかない」「毎回払うと負担が大きい」「使い道は説明されたことがない」など、様々なご意見が寄せられました。公の施設は、本来自治体が責任をもって管理するもの。地域の実情に応じてフォローすべきであり、不足金の徴収には、一定の節度と配慮が必要だと指摘しました。

市民部長は、自治会には一定の配慮を求めながら、今後、支援していくと答えました。

生理用品、消耗品として学校のトイレに!

生活困窮のために生理用品が買えない「生理の貧困」が問題となり、全国では、生理用品の支援や提供が広がっています。3月議会の総括質問でも、生活困窮世帯への物資提供や、学校での生理用品の提供を求めましたが、改めて、児童生徒が学校で必要な生理用品はトイレトペーパーと同様、消耗品として配置するよう求めました。

教育部長は、保健室での提供や相談体制の充実を図っていますが、気兼ねなく学校生活が送れるよう、ジェンダー平等の立場で、必要な物資の提供をあたりまえにすることこそ急務です。

一般質問

新型コロナウイルス感染症の早期収束を



ふくま
けんじ
議員

スムーズなワクチン接種と検査体制の拡充を

ふくま議員は、高齢者へのワクチン接種の工程、②高齢者・障がい者等施設職員、保育・教育関係者等のエッセンシャルワーカーへのワクチン接種の行程、③抗原検査センターの増設や④エッセンシャルワーカーへのPCR検査、抗原検査の頻回・定期的な実施などのコロナ対応を求めました。

福祉保健部長が答弁し、①接種センターや医療機関の予約枠を拡充、7月末までに希望する65歳以上の接種が完了する見込み。②高齢者施設職員等は高齢者の次の優先枠とし、意向調査を踏まえ速やかに接種を実施する。教職員3400名は夏休み期間中に、また、幼児教育・保育関係者は7月から8月の週末に実施予定。対象者は約4600名。③④については、6月から同業者組合等への抗原検査キット購入助成の実施、施設職員等は県から配布の抗原検査キットも合わせ、9月末まで延長する大分駅前前の抗原検査センターで検査体制を維持していく」ことが明らかになりました。

五輪は中止し、コロナ収束に集中を

また、変異株が広がる中、いのちや暮らし、営業に深刻な影響が及ぶ五輪は中止し、新型コロナ収束に集中すべきとの世論が高まっていることについてただしましたが、企画部長は、「主催者・国の動向を注視する」との答弁に止まりました。

その他、後期高齢者医療費一部負担金2割導入の撤回、個人情報をないがしろにし地方自治を侵害する、デジタル関連法の基本認識について、新教育長の大分市教育行政に対する今後の基本姿勢についても質問しました。

荷揚町小学校跡地の複合公共施設の契約締結



PFIは問題!

これまでも指摘してきた荷揚町小学校跡地の整備事業。国が推奨するPFI法に基づくBTO方式ですすめられています。

市民説明会では、PFIがいかにかコスト削減になるかを強調していましたが、18年間にも及ぶ長期にわたり、特定の1社(関連会社)に整備・管理をゆだねることは、事業者の経営や労働環境などへの変動が影響し、サービスの維持にはリスクも伴います。PFIでは、情報公開も乏しく、住民の声を反映させることも困難です。公共施設にかかる利益を、長期間独占させることが、はたしてメリットといえるのでしょうか?

大分県下の防災拠点を広域化・一元化する「通信指令センター整備」の問題も合わせ、施設整備のやり方には反対の立場です。

9月議会は9月1日から9月27日のまで予定です



←日本共産党大分市議団サイトはこちら
☆議会の質問の詳細もこちらどうぞ!
〒870-8504
大分市荷揚町2-31 大分市議会内
直通TEL097-537-5695 FAX097-537-5791

75歳以上の医療費 2倍化なんてトンデモない! 2割負担の法改悪は撤回を!



健康保険法等の改悪案が通常国会で成立し(自民・公明・維新などが賛成)、医療費の2倍化に不安が広がっています。受診抑制を招き、公的医療にかかる国の財政的責任を後退させることは断じて許せません。党議員団は、政府への撤回を求めました。「国の動向を注視する」との姿勢に止まっている大分市。今後も2倍化中止を求めます。

こんにちは!
控え室事務局です

見たことのない
光景にビックリ!



こんにちは。今議会は、核兵器禁止条約の意見書審議を見とどけるため、総務常任委員会を傍聴しました。委員会での採決の結果、なんと賛成と反対が同数に。めったに見たことがない事態です。同数だったため、委員長の反対により、結果は不採択に。

最終日の本会議では、紹介議員のふくま議員が、不採択の理由を委員長に問いただしました。(いい質問です!どう答えるのが注目しました!なぜなら、委員会でも反対議員の討論はひとつもなかったからです!)質問に対し、「先ほどの報告の通りです」をくり返すだけの委員長。(いつもだいたい同じです)質問に答えない、説明できない無責任な報告!皆さんも一度、傍聴してみませんか。ご一緒しますよ(笑) (吉光)